



NEWS RELEASE

国土交通省 近畿運輸局

問い合わせ先

(所属) 海事振興部船員労政課
(担当) 田中、大崎
(電話) 06-6949-6435

令和8年10月5日

内航船員の人材確保対策

京都府立海洋高等学校の学校説明会に併せて

内航船員紹介ブース・操船シミュレーター体験等を開催

内航海運は、日本経済を支える重要な産業です。これを支える内航船員は、業界全体として若年層が増加傾向にあるものの高齢化は著しく、将来における担い手不足が生じないように十分な数の船員の確保が必要とされています。

これを受け、国土交通省では、内航船員の育成・確保施策を推進しており、近畿運輸局においては、近畿内航船員対策協議会と連携して、若年船員の確保に向けて各種の事業を実施しています。

今般、京都府立海洋高等学校が実施する学校説明会及び船内見学会において、近畿内航船員対策協議会は全国内航タンカー海運組合関西支部・薬槽船支部とともに、参加した小中学生とその保護者対象に、内航船員紹介ブースを出展しました。また、京都府立海洋高等学校の生徒及び教員を対象に操船シミュレーター体験等を実施しましたのでお知らせいたします。

実施日：令和8年9月13日（日）

場 所：大阪港中央突堤北岸壁 他

○内航船員紹介ブース

対象：小中学生及び保護者 12組

配布パンフレット等：「What is 内航海運？」（日本内航海運組合総連合会）
「ペーパークラフト 貨物船他2種」（ ） 他

○操船シミュレーター体験等

対象：京都府立海洋高等学校の生徒17名及び教員2名

協力：田渕海運株式会社



「C to Sea プロジェクト」
海と船がもっと楽しく身近になる情報発信中！！
海と船のポータルサイト「海ココ」開設 →



配布先：海運関係業界プレス

内航船員紹介ブース / 操船シミュレーター体験等の開催概要



令和8年9月13日（日）、大阪港中央突堤北岸壁にて、京都府立海洋高等学校が実施する学校説明会及び実習船「みずなぎ」の船内見学会に併せて、近畿内航船員対策協議会（会長：林一男 田渕海運(株)取締役）は、全国内航タンカー海運組合関西支部・薬槽船支部と共同で内航船員紹介ブースを出展しました。

また、同日午後からは、京都府立海洋高等学校 航海船舶コースの2年生17名及び教員2名を対象に、操船シミュレーター体験を実施しました。

○内航船員紹介ブースの様子

実習船「みずなぎ」の船尾にある作業甲板のスペースに内航船員紹介ブースを出展し、学校説明会及び船内見学会に参加した小中学生及び保護者を対象に、内航海運で活躍する船舶や船員について、パンフレット等を活用して説明しました。



また、内航海運の重要性を知ってもらうため、内航海運に興味・関心が持てるクイズを実施しました。

来場者からは船員の勤務体制や休暇の取得方法、船員になるための進学先の選択方法などの質問があり、船員を職業の選択肢として考えるきっかけになったものと思います。

○海洋高校生対象操船シミュレーター体験等の様子



田渕海運株式会社にご協力いただき、内航海運についての講義と操船シミュレーター体験を実施しました。

田渕海運株式会社の林取締役の挨拶の後、内航海運についての講義を受講する班と、操船シミュレーターを体験する2班に分かれ、交代で実施しました。講義では、船員の種類とその業務内容や海技免状の取得の必要性、給与や休暇などの待遇面についての話等をしていただきました。生徒からの質問にも時間の許す限り丁寧に回答をされました。

また、操船シミュレーターは、田渕海運株式会社が所有する模擬訓練装置であり、船内から見える海上の様子が操船と連動して変化し、実際の操船を精巧に再現しているものとなっており、天候や時間、周囲の船の状況など細かく設定することが可能なものとなっています。

生徒たちは、どのような操作をすると、船体がどのように動くかについて、田渕海運の船員の方が実際の船上での経験を交えながら説明頂いたこともあり、非常に有意義な体験となったのではないかと思います。



今回のように、共同ブースの出展や操船シミュレーター体験によって、水産系高校をめざす中学生とその保護者、そして水産系高校の生徒に「海運」を理解してもらおうと共に、船員を職業の選択肢として考えるきっかけとなったと思います。

近畿運輸局では、今後も近畿内航船員対策協議会連携して、「海運の重要性」や「船員の仕事」についてのPR活動を積極的に行っていきたいと考えています。

(近畿運輸局 海事振興部 船員労政課)